

夏休み子どもワークショップ 「小さな尺八 “一節切 (ひとよぎり)” を作って演奏しよう！」



今年度の楽器博物館では子どものためのワークショップを複数開催しています。8月26日(土)は小学3年生から6年生を対象に、静岡県博物館協会の助成を受けて「一節切 (ひとよぎり)」のワークショップを開催しました。講師は古典尺八研究者・演奏家の相良保之さん、アシスタントは加藤いつみさんです。

ワークショップでは、当館館長挨拶の後、相良先生による一節切についてのレクチャーがありました。一節切は、室町時代に中国から伝わった小さな笛で、竹の節が一つあることが名前の由来です。当時は様々な長さの笛があり、季節によって使い分けて演奏をしていました。江戸時代元禄期になって、現在「尺八」と呼ばれている虚無僧尺八が一般的になるまでは、一節切が「尺八」と呼ばれていたそうです。一休さんや織田信長が演奏したことで知られており、浜松市の龍潭寺(りょうたんじ)には一節切を吹く人々の姿が描かれた屏風が残っています。レクチャーでは、実際に様々な種類の笛を演奏していただき、音色や音の高さの違いを聴き比べました。

一節切づくりでは、竹材を実際のサイズに合わせて切る場所から行いました。節から息を入れる歌口までの長さ、節から管の下端までの長さ、指孔の場所に定規を使って印をつけ、ノコギリで竹を切る作業を行いました。

その後、電動ドリルで指孔をあけ、やすりで切り口を平らに削って一節切を完成させました。限られた時間で、全員が自分だけの一節切を完成させることができました。

完成後は、作った一節切で演奏体験をしました。一節切は音を出すのが難しく、初めは試行錯誤を繰り返していましたが、相良先生から「歌口を唇に沿うように滑らかに削り、顎に尺八を当てたときに自然と合うようにすると良い。笛は角度が大事です。」とのアドバイスを受け、作った一節切を微調整すると、音が出る参加者が増えました。多くの子どもたちが、吹き方のコツを相良先生や加藤先生に熱心に聞いている姿が印象的でした。

当日は、満員御礼のなか、参加した子どもたちが日本の伝統楽器に親しむ良い機会となりました。当館では、今後も小学生を対象としたワークショップを多数行う予定です。普段は触れる機会の少ない、世界の様々な楽器を体験できる貴重な機会となりますので、この機会に是非ご参加ください。

日 時：平成29年8月26日(土) 13:30～16:00
 場 所：研修交流センター 36 音楽セミナー室
 講 師：相良保之(古典尺八研究・演奏家)、加藤いつみ
 参加者：15人

子どもワークショップ 「アフリカの楽器・親指ピアノ“リンバ”でアフリカンリズムを楽しもう！」



日 時：平成 29 年 8 月 7 日（月） 13:00～14:30/15:00～16:30
 会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター 36
 講 師：サカキマンゴー
 参加者：7 人

8 月 7 日（月）に小学生対象のワークショップ「アフリカの楽器・親指ピアノ“リンバ”でアフリカンリズムを楽しもう！」を行いました。講師は親指ピアノ奏者のサカキマンゴーさんです。

まずはマンゴーさんがタンザニアの親指ピアノ「リンバ」を演奏してくださり、アフリカらしい複雑なリズムとメロディーを楽しみました。アフリカらしいリズムにするには「片方の指で同じリズムを繰り返しながら、もう片方の指で別の動きをする」という説明をしていただきました。まずは楽器を使わずにリズムを練習し、リズムに慣れてから、楽器を持って演奏しました。

親指ピアノに触るのが初めてだという参加者がほとんどだったのですが、アフリカのリズムを感じながら、アフリカの音楽文化も学ぶことができ、とても貴重な時間になりました。

子どもワークショップ 「インドネシアの伝統芸能を楽しもう！ 影絵人形ワヤン作りとガムラン演奏と踊りを体験しよう！」

8 月 27 日（日）、インドネシアの伝統芸能が体験できる小学生対象のワークショップを開催しました。講師には佐々木宏美さん、ローフィット・イブラヒムさん、西岡美緒さん、スマルヨノさん、ワヒュー・クリスワティさんをお迎えしました。

まずはインドネシアの影絵人形芝居で使うワヤン人形を作りました。ワヤン人形は本来、水牛の革で作られますが、今回はボール紙で作成しました。完成後は人形をスクリーンに映し、先生方の演奏に合わせて動かしました。次はガムランの演奏体験です。初めてのガムランに苦戦していましたが、楽譜を見ずに、先生が操るワヤンを見ながら演奏できるほど上達しました。最後は宮廷舞踊を体験しました。子ども達は飲み込みが早く、とても楽しそうに踊っていたのが印象的です。最後には一曲通して踊ることができました。

工作、楽器演奏、舞踊と盛りだくさんのワークショップでした。夏の楽しい思い出になったことと思います。



日 時：平成 29 年 8 月 27 日（日） 12:30～16:00
 会 場：アクトシティ浜松 音楽工房ホール
 講 師：インドネシア伝統芸能団ハナジョス、西岡美緒、スマルヨノ、ワヒュー・クリスワティ
 参加者：9 人

城北図書館 音楽のまち講座「『スーホの白い馬』の馬頭琴って、どんな楽器？」



日 時：平成 29 年 8 月 19 日（土） 10:00～12:00
 会 場：城北図書館 講座室
 講 師：福井則之
 参加者：27 人

8 月 19 日（土）、浜松市立城北図書館との連携企画で、小学生対象の講座を行いました。この企画は昨夏から始まったものです。モンゴル民話を基にした絵本「スーホの白い馬」の読み聞かせのあと、馬頭琴奏者の福井則之さんによる演奏やモンゴルの人々にまつわるお話を聞きました。

福井さんは木製の馬頭琴と、共鳴箱に蛇皮が張られた馬頭琴の 2 種類を演奏をしてくださりました。蛇皮の馬頭琴は木製のものと比べると音量こそ小さくはなりますが、とても味わい深い音でした。講座の最後には楽器体験の時間を設け、実際に一人ひとり馬頭琴を手にとって鳴らしました。

子ども達は、福井さんによる惹き付けられる演奏とお話に興味津々で、途中休憩の時間にも質問をする子ども達が多く見られました。また、帰りに図書館にある馬頭琴の CD や本を借りていく子ども達もいました。良い学びの時間となったのではないのでしょうか。

ミュージアムサロン 「南米の楽器 アルパ」



日 時：平成 29 年 8 月 12 日（土）14:00、15:30（各 30 分）
会 場：楽器博物館 天空ホール
出 演：長島忠之（アルパ）、桜井壮憲（ギタロン）、
杉山由利子（電子ピアノ）、田中淳子（パンフルート）、
パブロ・テロネス（ギター、チャランゴ）
入場者：250 人

8 月 12 日（土）に、長島忠之さん、桜井壮憲さん、杉山由利子さん、田中淳子さん、パブロ・テロネスさんをお迎えて、ミニコンサートを開催しました。

南米の楽器「アルパ」はスペイン語でハーブという意味ですが、西洋のハーブとは見た目や調律も違います。同じく南米の弦楽器「チャランゴ」や「ギタロン」と共に南米の音楽や、オリジナルにアレンジした作品を演奏していただきました。

美しくゆったりとした曲調の「君しのぶ夜」、郷愁を感じる「イパカライ（パラグアイにある湖）」、滝の水が流れ落ちる様子を表現した「カスカーダ（滝）」などが演奏されました。曲によってはテロネスさんの歌が入ったり、南米の縦笛「ケーナ」、ルーマニアのパンパイプ「ナイ」や電子ピアノも一緒に演奏され、色彩豊かな音色を楽しむことができました。

音楽の広場 ミニコンサート 「クラリネットアンサンブル」

8 月 13 日（日）に、浜松市を中心に活動される浜松クラリネット・クワイアーの皆さん 13 名のメンバーで、クラリネットの合奏をしていただきました。

クラシック音楽を中心としたプログラムで、アンコールを含めて全部で 6 曲演奏して下さいました。楽器紹介では、ソプラノからコントラバスクラリネットまで 5 類のクラリネットを順番に、ソロ演奏も交えながら楽器についてお話してくださいました。各楽器によって音域や担当する役割は異なりますが、それぞれクラリネットという一つの音色を持っていて、まとまりのある心地良い響きを楽しみました。

夏休み真っ最中ということで多くのお客様が、クラリネットの音色に耳を傾けていました。

浜松クラリネット・クワイアーは今年で結成 20 周年という節目の年を迎え、2018 年 2 月には第 19 回目の定期演奏会を行う予定です。



日 時：平成 29 年 8 月 13 日（日）14:00、15:30（各 30 分）
場 所：楽器博物館 天空ホール
出 演：浜松クラリネット・クワイアー
入場者：291 人

学芸員実習～未来の博物館を担う学芸員の育成～



日 時：平成 29 年 8 月 21 日（月）～ 26（土）
実習生：7 人

博物館学芸員過程を履修している大学生を対象に 8 月 21（月）～ 26 日（土）の 6 日間「学芸員実習」を行いました。実習では資料管理や展示照明、ギャラリートーク（展示品の解説）、ミュージアムサロン（簡単な演奏と解説）など、実践を伴う課題を中心に行いました。資料管理では寄贈で受け入れた資料のメンテナンスや何に注意して見るかなどを考えながら、資料の記録を作成しました。そして、ギャラリートークでは各自興味を持った展示品 1 つを選択し、10 分程度の解説をお客様の前で行いました。短い期間の中で調べてまとめあげ、緊張しながらもお客様の前でしっかりと解説することができました。

学生からは「ここでしかできないことが体験できた」「調べたことを伝えることの大変さ、大切さが学べた」などの感想があがりました。

ヤマハミュージックメンバーズイベント 管楽器づくしの旅 2017 「フォルテピアノ聴き比べ」



日 時：平成 29 年 8 月 25 日（金）13:45 ～ 15:00
会 場：楽器博物館 展示室

博物館日誌

- 8/14（月）ミニコンサート「ミュージカルグラス」14:00、15:30
天空ホール 出演：当館職員 入場者：238 人
- 8/15（火）ミニコンサート「ミュージカルグラス」14:00、15:30
天空ホール 出演：当館職員 入場者：203 人
- 8/16（水）ミニコンサート「ミュージカルグラス」14:00、15:30
天空ホール 出演：当館職員 入場者：138 人
- 8/19（土）城北図書館「音楽のまち講座」楽器博物館連携企画
「スーホの白い馬」の馬頭琴って、どんな楽器？
10:00 城北図書館講座室 講師：福井則之
参加者：小学生 27 人
- 8/20（日）展示室ガイドツアー 11:00、14:00（鍵盤）
参加者：77 人
- 8/21（月）～8/26（土）学芸員実習 大学生 7 人
- 8/21（月）ミニコンサート「アンクルン」14:00、15:30
出演：当館職員 入場者：147 人
- 8/22（火）～8/25（金）中堅教員研修 中学校教諭 1 人
- 8/22（火）ミニコンサート「アンクルン」14:00、15:30
出演：学芸員実習生 入場者：70 人
- 8/25（金）ヤマハ「ピアノづくしの旅」13:45
演奏：小倉貴久子
- 8/26（土）楽器作りワークショップ「小さな尺八
“一節切（ひとよぎり）”を作って演奏しよう！」
13:30 研修交流センター 講師：相良保之
参加者：小学生 15 人
- 8/27（日）展示室ガイドツアー 11:00（第2展示室）、14:00（アジア）
参加者：71 人
- 8/27（日）子どもワークショップシリーズ
「インドネシアの伝統芸能を楽しもう！
～影絵人形ワヤン作りとガムラン演奏と踊りを体験しよう！～」
12:30 音楽工房ホール
講師：インドネシア伝統芸能団ハナジョス、西岡美緒、
スマルヨノ、ワヒュー・クリスワティ
参加者：9 人
- 8/31（木）特別展「耳をすませば浮世絵に、文明開化の音がする」
開催終了 観覧者数：18,056 人
- 9/3（日）展示室ガイドツアー 11:00、14:00（鍵盤）
参加者：44 人
- 9/10（日）展示室ガイドツアー 11:00（鍵盤）参加者：15 人
- 9/10（日）ミニコンサート「ミュージカルグラス」14:00、15:30
天空ホール 出演：当館職員 入場者：113 人
- 9/11（月）～14（木）移動楽器博物館 浜松市立城北小学校

♪ギャラリートーク

（職員が毎日数回、展示品をひとつ選んで 10 分間ほど解説）

8 月 計 97 回 参加者：2730 人

ヤマハミュージックメンバーズ主催による同会会員限定の「ピアノづくしの旅 2017」が開催され、約 40 人の会員が博物館を見学されました。ヤマハ掛川工場にてピアノの製造を見学した後、博物館にてフォルテピアノのレクチャーとミニコンサートを楽しみました。

レクチャーの「フォルテピアノ聴き比べ」では 18 世紀初頭のピアノの復元品「クリストフォリ」のピアノや 19 世紀初頭の「ワルター」など全部で 5 つのピアノが小倉貴久子さんの解説と演奏で紹介されました。その後、「プレイエル」（1830、フランス）を使用したミニコンサートを行いました。プレイエルのピアノはショパンが愛用していたことでも知られています。ショパン作曲「ワルツへ長調作品 34-3」「ノクターン長調作品 32-1」「ソナタ変口短調 第 2 番 作品 35《葬送》」などが演奏されました。

博物館ならではのフォルテピアノの聴き比べとミニコンサートを楽しむことができました。

これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります
- ギャラリートーク 毎日数回
展示品の解説を行います
- 企画展
11/3（金）～2018/1/14（日）「小さな可愛い世界旅行～人形切手の楽器たち～」 楽器博物館展示室
- ワークショップ
10/15（日）子どもワークショップシリーズ
「雅楽の楽器“箏（ひちりき）”をふいて、気分は宮廷人！」
A10:00～12:00/B14:00～16:00
アクトシティ浜松研修交流センター 講師：中村仁美
- 10/29（日）子どもワークショップシリーズ
「韓国の太鼓“杖鼓（チャンゴ）”をたたけば、宇宙がわかる！」
A13:00～14:30/B15:00～16:30
アクトシティ浜松研修交流センター 講師：リ・チャンソプ
- 11/12（日）子どもワークショップシリーズ
「陽気な楽器“バンジョー”をひいて、気分はアメリカン！」
A13:00～14:30/B15:00～16:30
アクトシティ浜松研修交流センター 講師：原さとし
- 12/3（日）子どもワークショップシリーズ
「ポルトガルの四角いタンバリン“アデューフェ”を作って、ラララ、タンバリン！」 A10:00～12:00/B13:30～15:30
アクトシティ浜松研修交流センター 講師：田島隆
- 12/16（土）親子ワークショップ「毛糸で楽器の絵を作ろう！」
13:30～15:30 アクトシティ浜松研修交流センター
講師：静岡市美術館学芸員
- 1/14（日）子どもワークショップシリーズ
「弦が一本だけのお琴“一絃琴（いちげんきん）”で、日本の優しい心を感じてみよう！」 A13:00～14:30/B15:00～16:30
アクトシティ浜松研修交流センター 講師：峯岸一水
- ミニコンサート / 音楽の広場 14:00、15:30（各 30 分）
天空ホール
9/23（土）ミニコンサート「ミュージカルグラス」
天空ホール 出演：当館職員

浜松市楽器博物館だより

平成 29 年 9 月 20 日発行 No.120 編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央 3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
URL <http://www.gakkihaku.jp/>